

津軽弘法大師霊場

津軽弘法大師二十三ヶ所霊場一覧

第1番	金剛山	最勝院	弘前市銅屋町63 ☎0172-34-1123
第2番	北門山	大王寺	弘前市新緑町95 ☎0172-33-3226
第3番	弘前高野山	法光院	弘前市城東中央4丁目4-10 ☎0172-28-1566
第4番	鷹揚山	加福不動寺	弘前市茂森新町4丁目3-11 ☎0172-35-4777
第5番	成田山	弘前寺	弘前市常盤坂3丁目4-1 ☎0172-32-8572
第6番	護國山	久渡寺	弘前市坂元山元1 ☎0172-88-1555
第7番	行峯山	覚應院	弘前市湯口字一ノ安田95-1 ☎0172-84-2127
第8番	愛宕山	橋雲寺	弘前市大字愛宕字山下63 ☎0172-82-3429
第9番	岩木山	求聞寺	弘前市大字百沢字寺沢29 ☎0172-83-2373
第10番	五色山	聖心寺	弘前市大字百沢字東岩木山3056 ☎0172-93-3015
第11番	西の高野山	弘法寺	つがる市木造吹原風山1-244 ☎0173-26-2320
第12番	春光山	圓覚寺	深浦町大字深浦字浜町275 ☎0173-74-2029
第13番	成田山	大善院	五所川原市新町28 ☎0173-34-5621
第14番	大峰山	蓮正院	板柳町石野宮本75 ☎0172-72-0337
第15番	元城山	照法寺	青森市大字新城字平岡72 ☎017-788-2628
第16番	高野山	青森別院	青森市桑原字山崎45 ☎017-726-1300
第17番	成田山	青森寺	青森市栄町1-4-24 ☎017-741-0643
第18番	浅虫高野山	陸奥護國寺	青森市浅虫字山下203-6 ☎017-752-2129
第19番	朝日山	常福院	青森市横内字亀井146-1 ☎017-738-2439
第20番	愛宕山	地藏院	黒石市山形町81 ☎0172-52-2078
第21番	赤倉山	金剛寺	平川市八幡崎字宮本141 ☎0172-57-2548
第22番	神岡山	大圓寺	大鰐町蔵館字村岡12 ☎0172-48-2017
第23番	古懸山	國上寺	平川市碓ヶ関古懸門前1-1 ☎0172-45-2446



真言宗津軽仏教会
津軽弘法大師霊場

●ホームアドレス
<http://kouhoudaishi.main.jp/>

アクセス

◆飛行機

羽田空港	1時間15分	青森空港	バス 55分	弘前
大阪(伊丹)空港	1時間35分			
名古屋(小牧)空港	1時間15分			
札幌(千歳)空港	45分			
ソウル(仁川)空港	2時間20分			

◆新幹線

東京	はやぶさ・はやて 3時間10分	新青森	特急つがる 30分	弘前
新大阪	のぞみ 2時間30分			

巡拝用品

巡拝用品のお求めは、
最寄りの寺院にお問い合わせ下さい。



納経帳



笈摺(白衣)



浄布(てぬぐい)



掛軸



津軽弘法大師霊場沿革

当霊場は、昭和五十九年（一九八四）の弘法大師一一五〇年御遠忌に際し、津軽における有縁の真言宗寺院が手を携え、混沌の今に生きる衆生のため、心の一助になればとの思いで創立の運びとなった。創立当時霊場会には二十三箇寺が参集し、その範囲は青森市・弘前市・黒石市・五所川原市・中野西北郡など津軽一円に及んだ。現在も陽春に誘われるように多くの参拝者が笈摺姿で訪れている。

第12番 春光山 圓覚寺

真言宗醍醐派 御本尊 十一面観音

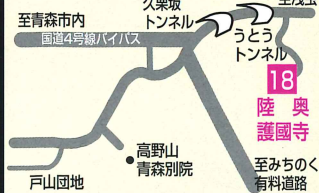
伝説では807年、坂上田村麻呂が草創。藩政時代は北前船の無事を祈り多くの絵馬を奉納。薬師堂内厨子は重要文化財。



第18番 高野山 陸奥護國寺

真言宗 御本尊 弘法大師

眺めが素晴らしい浅虫の高野山として知られる。和歌山県高野山の通照尊院別院で、昭和11年に開山した。



第13番 成田山 大善院

真言宗国分寺派 御本尊 不動明王

元禄15年、浅瀬石高野城にあったが浅瀬石城が信に攻められ落城した後は掘越に移され、津軽藩の祈願寺となる。



第19番 朝日山 常福院

真言宗智山派 御本尊 大日如来

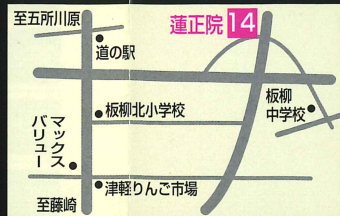
中国からの帰化僧圓智上人が東岳山頂に布教場を開いたのが始まり。東奥羽最古の霊場「東岳の三千坊」として栄えた。



第14番 大峰山 蓮正院

真言宗醍醐派 御本尊 不動明王

一説によると関ヶ原の戦いに敗れた由緒ある武士が縁起とされ、開祖の法體目などがある。津軽七福神霊場弁財天奉安所。



第20番 愛宕山 地藏院

真言宗醍醐派 御本尊 勝軍地藏

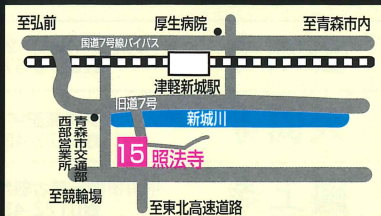
古くは京都三寶院末の修験道だったが、修験廃止により真言宗醍醐派に。黒石藩代々の祈願所であった。



第15番 元城山 照法寺

真言宗山階派 御本尊 聖観音

新城城跡に戦後建てられた寺院。開山は今照法師で小柳から中里に移った後、夢のお告げで現在地に寺院を建立。



第21番 赤倉山 金剛寺

真言宗国分寺派 御本尊 文殊菩薩

藤田照正師によると夢の中に、龍に乗った白髪の老人が現れ、「赤倉の地にお堂を建てよ」と告げられたことにより建てられた。弘法大師巡錫の地と伝えられ、昭和25年赤倉山開山、昭和55年本堂建立。



第16番 高野山 青森別院

真言宗 御本尊 弘法大師

昭和46年、五重塔がある青龍寺の本寺として知られる。昭和23年、開基住職の織田隆弘師が托鉢により建立。



第22番 神岡山 大圓寺

真言宗 御本尊 大日如来

重要文化財「大日如来像」を安置し、大鰐の大目様として親しまれている。明治4年弘前から大圓寺の寺号を移した。



第17番 成田山 青森寺

真言宗智山派 御本尊 不動明王

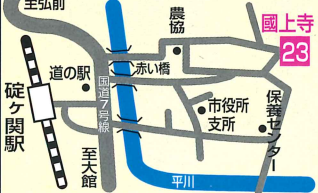
明治21年開基。千葉の成田不動尊詣でのために組織されていた成田講の人達が青柳に不動尊を建立したのが始まりである。



第23番 古懸山 國上寺

真言宗智山派 御本尊 不動明王

610年、国家北門鎮護のため聖徳太子の命を受けて開基。津軽三不動尊の一つであります。



第8番 愛宕山 橋雲寺

真言宗智山派 御本尊 勝軍地藏

藩政時代百石の寺縁を得た寺。本尊は、津軽藩祖が信公が信仰した。巳年生まれの一代守り本尊として知られる。



第9番 岩木山 求聞寺

真言宗智山派 御本尊 虚空蔵菩薩

津軽二代藩主信牧公が領内の安定を願ひ寛永6年求聞持堂建立。丑寅の守り本尊で全国から参拝者が訪れる。



第10番 五色山 聖心寺

真言宗智山派 御本尊 大日如来

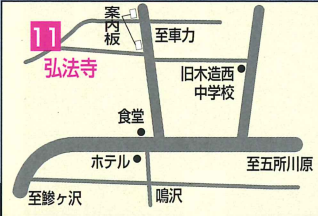
昭和35年弘前市南横町で成田聖心師が聖心会として布教。山岳信仰の開祖赤倉大神と真言宗開祖弘法大師の訓に基づき、神、仏事、神占い、祈祷を行う。



第11番 高野山 弘法寺

真言宗 御本尊 弘法大師

開創は不明だが明治再興。独身で死んだ人に伴侶をおくる寺として知られ、全国で唯一等身大の「御休み大師」がある。



第5番 成田山 弘前寺

真言宗智山派 御本尊 不動明王

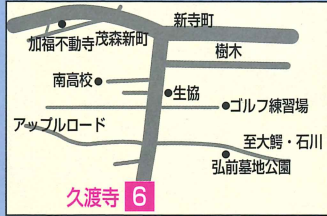
大本山成田山新勝寺の末寺で、昭和23年開山。初不動の御幣護摩、釜鳴りは、一年の吉凶を占う行事として知られる。



第6番 護國山 久渡寺

真言宗智山派 御本尊 聖観音

久渡寺山の中腹にある津軽平野が一望。本尊は、聖観世音菩薩。津軽三十三カ所観音霊場第一番札所でオシラ様が有名。



第7番 行幸山 覚應院

真言宗醍醐派 御本尊 浪切不動

五代藩主信寿の時代、家老喜多村氏が茶臼館に不動尊を安置したことに由来する。藩の祈願所として寺縁二十俵を受けていた。



第1番 金剛山 最勝院

真言宗智山派 御本尊 大日如来

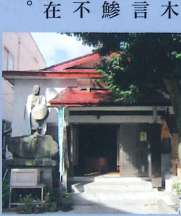
天文元年、弘信法印が掘越城外の北葭野に開基。津軽真言五山の筆頭で、享保6年には津軽で初めて宮家が住職に。本州最北端の国指定重要文化財五重塔がある。



第2番 北門山 大王寺

真言宗醍醐派 御本尊 不動明王

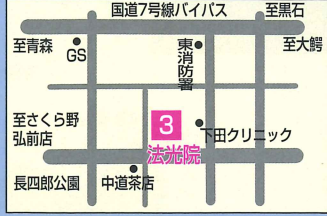
真言宗醍醐派に属し岩木山赤倉山に入り修験。言い伝えによると本尊は鯉ヶ沢の海中よりいでし不動明王で、昭和16年現在地に高倉布教所を開教。



第3番 弘野山 法光院

真言宗 御本尊 大日如来

昭和32年北山公章師が弘前市宣町に開山。52年現在地に新四国八十八カ所弘前霊場をも開山、修行大師銅像を建立した。



第4番 鷹揚山 加福不動寺

真言宗醍醐派 御本尊 不動明王

昭和41年加福晃教師が真言宗国分寺派の末寺として開山した。修験道、加持祈禱を中心に活動し同61年修験道を極めるべく寺籍を醍醐寺に移す。津軽七福神「毘沙門天霊場」。

